

市立藤島中学校の改築 市議と市教委、庁舎が初めて懇談

鶴岡市立藤島中学校の改築について、藤島地域選出の市議会議員4人と市教育委員会、藤島庁舎支所長及び総務企画課長と13日、議会委員会室で初めて懇談を行いました。

朝陽第五小の後に

学校改築の流れは市教育委員会によると、鶴岡第二中学校までは合併設計画に基づいて行ってきたが、その後は改築の順序が決ま

建設後の経過年数や老朽化の状態、地元期成同盟会などの市民要望の高まりを受けて進めることになる。

当面は朝陽第五小学校の改築が、令和3年度に基本設計と実施設計、4～5年度に本体

工事、6年度に外構工事の計画で、その後

に藤島中学校の改築に着手したいとのこと。

今年7月からの斎（いつき）小学校の体育館の改修中に、建設時の施工不良箇所が多数見

建て替えが必要となる場合も生じた。

朝陽六小や豊浦中なども老朽化が進んで

いますが、豊浦中は現在生徒数が58人で、将来的には改築か他校への統合かの選択が迫られるとのこと。

早期に期成同盟会

中学校の改築では武道場は必置となり、剣道の盛んな藤島地域では武道館との併設も検討できること、

市立図書館藤島分館

短兵急な日帰り温泉施設の改革

日帰り温泉施設の改革について、市当局は「今年度に庁内検討会

議を立ち上げ、素案を11月と来年2月の行革委員会に提出し、3年度に新たな運営方法を決定し、4年度に実施する」計画でいました。

ところが市議会9月14日の産業建設常任委員会で、「第3セクターの株主総会で（譲渡を）決めてしまえば、1年も2年もかかる話ではない」（小野）、「来年からやる話だと思ってい

が出て、急ぎよ来年度からの変更には迫られませんでした。

「健康増進施設として市直営でこなつ」「朝日ほんほのように住民の管理運営組合でやる」など意見が出されています。

合併で疲弊した地域をさらに追い詰める議論で良いのか、むしろ「地域まちづくり未来基金」を使って、新たな活性化を時間をかけて検討できないか。

コロナ禍の中での短兵急な改革は危険です。

りは一体であり、早期に地元期成同盟会の立ち上げが期待されます。

少子化の問題

懇談の中では、出生数の減少、特に藤島地域は子どもが年間50人程度しか生まれず、小学校の統合や小中一貫校も選択肢になつてくるなどの意見も出されました。

しかし、現在の少子化が続くとすれば、藤島地域は50年後には人口は3千人程度となり、経済も社会も存立できないこととなります。

現在の極端な少子化は、長い歴史の中で見れば異常であり、非正規雇用や貧富の格差、都市と農村の格差などの「新自由主義」から脱却し、長期のデフレ経済を解決していく政治が生まれれば、今とは違った社会が出現する可能性があります。

月山の紅葉をみて、そばを食べて 総選挙勝利をめざす 街頭演説会ツアー

日時 10月18日(日)14時山形駅前

- 行程 9時 余目梵天駐車場前
- 9時30分 三川ラコス駐車場
- 10時 JR藤島駅前
- 10時30分 櫛引ヤマザワ駐車場
- 12時 昼食（西川または寒河江）
- 14時 街頭演説会（山形駅前）
- 18時頃 帰着予定

会費 1500円（昼食代込み）

※新型コロナ対策（マスク等）をお願いします。

連絡先：日本共産党後援会

0235-22-3313



党国会対策委員長
穀田恵二 衆議院議員



高橋ちづ子
衆議院議員

山旅メモ

雨を飾る山・雨飾山(あまかさりやま)

新町・斎藤留治

前回、私の「山旅メモ」は藤島から多分見えない雨告山(あまもりやま)登頂記。

雨告山は山伏修行の場にふさわしい奥深い山でもあったが、昔から山に雲がかかったら雨が降る前触れだと伝えられているらしい。

私が登った山で、雨という頭文字がつく山はもう一つ、新潟県の雨飾山である。

この山について日本百名山の著者・深田久弥は、「信州の大町から糸魚川街道を辿って…、遙か北のかたに、特別高くはないが品のいい形をしたピラミッドが見えた。しかしそれは左手に立ち並んだ後立山連峰の威圧的な壮観に目を奪われ、旅行者には殆ど気付かれぬ、つつましやかな、可愛らしいと言いたいような山であった…」と書いている。

私は糸魚川から長野県の松本方面に向かう大糸線の車窓から眺める景色が大好きで、今まで電車で何度かここを通っていたが、どれが雨飾山なのか車窓から目を凝らしてもよく判らなかつた。

山名が優雅な雨飾山に「いつか登ってみたい。」という念願がかなったのは、数年前の10月、バスで行った仲間と泊まった宿の親父さんが、「明日は雨かも」とポツリと漏らしたように、夜半過ぎには屋

の毒な山行でもあったと思つた。

雨と風に吹き晒され、立つたままの弁当早食いとなつて下山したが、その下山距離は長く、途中で滑つてひっくり返つたりして、服もザックもびしょびしよで、他人の目をかまわず着替えなければならなかつた。

この日の雨飾山は、ひらひらと雨が漂い銀の蝶がたおやかに舞い降りてくるような山名とはうらはらに、風に吹き上げられた雨が狂つたように私達を襲つてきては、歩行を悩ませた雨でもあった。

登山道はかなり急峻で、落石や滑落等にも注意が必要だと思つている。

登り道は急峻で、落石や滑落等にも注意が必要だと思つている。



雨飾山の山頂部を望む



頂上直下、ここで昼の立食

世界の国々

イギリス

日立製作所が英国原発撤退、
原発輸出ゼロに

青山崇

かつて大英帝国とし

て繁栄を誇つた。



いまはアメリカにとつて変われその勢いが無い。

面積は74万km²(日本の倍)、人口2000万である。

日本政府は福島原発事故以後も世界に原発を輸出し、2012年に英国原発会社を買収し、アングルシー島(写真赤)に2基の建設を計画した。

しかし、安全対策など事業費が予定の1.5倍、3兆円にかさみ、英国政府の支援も得られず撤退せざるを得なくなつた。

心字雪渓

皆さん方は、こんな

事を言つた覚え・言われた覚えはありませんか。俺は親から聞いた覚えがあります。それは、何かをねだつた時だったと思うんですが。遠い幼少の頃です。

▲その言葉は、シモのお山の万年雪が消えたら・と言つた言葉です。

考えてみれば、何処のお山でもいつまでも消えないから万年雪なんですね、今思えば、願いは始めつからかなわなかつた事だつたんです。

▲しかし、今まではこんな事があったかどうか。というのは、鳥海山にいつも見ていた白い4つの点・心字雪渓が見えないことに気がついたからです。いわゆる・シモのお山の万年雪が・ですよ。

▲現地に行けば雪はあるんでしょうが、今年俺たちの正月に雪が全

今回の完全撤退は、

経済的にも全く不合理なものであることを改めて示すことになつた。

国際環境NGOは、

「原発はもはや社会的にも成り立たない。国際社会は脱原発を」、「日本政府や企業はこれ以上、限りある資源を原発に投入することはやめるべきだ」などとの声明を出した。

リトアニアは2012年、ベトナムは2016年、原発輸入をそれぞれ白紙撤回している。

然なかつたことは、シモのお山にも少なかつたということでしょう。正月はコロナが無いときだったから、今年の夏の水の苦勞・水の心配が酒飲みの席に出ていたものでした。

▲その心配もなく稲の作柄は、やや良と報道されています。良かったですな。しかし、異常気象は梅雨明けまで寒く、梅雨が明けたら連日の猛暑だつた今年の夏。蟬の発生が少なくなつたでしょう。だから例年だと、歩くのに邪魔な程蟬の死骸があるんだが、今年はそんなことはなかつた。

▲油蟬の声は少なくなつたし、ヒグラシもツクツクボウシも声が無かつた。梅雨寒だつたから蟻だつてどつたか。蝗は完全になくなつたんだらうか。その昔、学校総動員で蝗で凶書を買つたり、今でも貴重なたんぱく源なんだが。(石川)